

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 5 日

評価対象事業		評価者	こども支援課担当課長 永野 英樹		
こども-04	実施事業	公立保育所管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	こども支援課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	保育課
総合計画上の位置付け	分野	子育て	施策の方針	すべての子育て家庭への支援	

1 事業の目的

対象	両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童
意図	両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童の保育を行うため。
効果	公立保育所の効率的な運用と維持管理を行うとともに、待機児童対策に取り組む。

2 平成29年度に実施した事業の概要

・公立保育所の維持修繕を行った。
------------------

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人口等の	人口	176,869人	176,466人		人口	176,308人	
	世帯数	80,928世帯	81,150世帯	世帯数	81,763世帯	81,763世帯		
	事業の対象者数			事業の対象者数				
運営資源状況	決算値(千円)	13,775	14,225	当初予算(千円)	14,241			
	国県支出金			国県支出金				
	地方債			地方債				
	その他			その他				
	一般財源	13,775		一般財源	14,240			
	人員配置数	0.9	0.4	人員配置数	1.2			
事業経費運営	人件費(千円)	7,122	3,085	人件費(千円)	9,660			
	総事業費(千円)	20,897	17,310	総事業費(千円)	23,901			
	市民1人当りの経費(円)	118	98	市民1人当りの経費(円)	136			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-1. 負担未導入 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-1. 協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				

予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	施設管理においては修繕費は、必須であるため。
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	公立保育所の維持管理に必要な修繕を適時、適切に実施することができた。
-------------------	------------------------------------

平成29年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	各施設の修繕を実施していくとともに、鎌倉市公共施設再編計画において、地域拠点校の整備に応じて複合化するとされている腰越保育園と大船保育園の長寿命化を検討する必要がある。	
課題解決のために行った平成29年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の修繕を計画的に実施するとともに、突発的な修繕に適時、適切に対応した。</li> <li>腰越保育園と大船保育園の老朽化に対する、修繕を行った。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	引き続き各施設の修繕を実施していくとともに、平成29年度の児童福祉審議会の答申を受け、拠点保育所整備方針を作成し、腰越保育園と大船保育園の民設民営による整備を計画する。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	待機児童数(平成29年4月1日現在)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	三浦市	葉山町	横浜市	川崎市	横須賀市
他市実績	47人	148人	18人	32人	0人	47人	2人	0人	12人

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	待機児童数は、その地域の様々な要因により形成されるもので、数値のみをもって単純に比較できるものではないが、結果として三浦市、川崎市で待機児童解消は達成されたものの、いまだ待機児童は多く発生しており、今後も公立保育所の適切な施設の維持修繕に努めていく。
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	待機児童数(各年度4月1日現在)						単位	人	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	平成30年度より待機児童の算出方法が変わり、潜在的待機児童が待機児童としてカウントされることとなったため、目標値の下方修正を行っている。			
保育を必要とするすべての就学前児童を保育することが求められているため。	目標値	5	3	1	0	30	15				
	実績値	55	50	44	47	93					
	達成率	9.1%	9.1%	2.3%	0.0%	32.3%					

指標の内容	入所児童数(各年度4月1日現在)						単位	人	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	待機児童数から算出した目標値に向け、施設整備を進めており、入所児童数の目標は概ね達成しているが、それを上回る新たな保育希望が発生するため、待機児童の目標値達成には至っていない。			
保育を必要とするすべての就学前児童を保育することが求められているため。	目標値	-	2,578	2,499	2,411	2,791	2,825				
	実績値	2,241	2,404	2,434	2,438	2,535					
	達成率	-	93.3%	97.4%	101.1%	90.8%					

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	公立保育所の維持修繕が待機児童対策に直結するものではないが、公立保育所の適切な施設の維持修繕に努めていく。
-----------------------	---